

日本認知科学会第35回大会のご案内（第3号通信）

日本認知科学会第35回大会の発表申し込みは、4月13日に締め切り、177件の応募をいただきました。多数のご応募ありがとうございました。

本大会は、「認知研究の対話と展開」をテーマとして、日本認知心理学会第16回大会と一部会期を重ねて開催します。一般セッションやオーガナイズドセッション(OS)のほかに、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッションなど、多彩な企画を予定しています。どうかご期待ください。

日 程：2018年8月30日（木）～9月1日（土）

【参考 日本認知心理学会第16回大会：
9月1日（土）～2日（日）】

場 所：立命館大学 大阪いばらきキャンパス
（大阪府茨木市岩倉町2-150）

大会 Web ページ：

<http://www.jcss.gr.jp/meetings/jcss2018/>

JCSS & JSCP 共通ページ：

<http://www.psy.ritsumei.ac.jp/cogcog2018/>

名誉大会委員長：佐藤隆夫（立命館大学）

大会委員長：服部雅史（立命館大学）

実行委員長：大石衡聰（立命館大学）

プログラム委員長：林勇吾（立命館大学）

重要な日程：

- ・論文集原稿提出締切 2018年6月29日（金）
- ・参加早期登録期限 2018年7月13日（金）

1. 例年からの主な変更点

以下の点が例年と異なるのでご注意ください。

- ・日本認知心理学会との連携：日本認知心理学会第16回大会と会期の一部を重ねて開催し、共同企画も用意します。会期の重なる日は、一方の大会への参加者が他方の大会へも参加できます。両大会に参加する場合は、参加費の大幅な割引があります。
- ・学部学生参加費：学部学生の大会参加費を無料にします。

- ・懇親会：日本認知心理学会と合同の懇親会を開催します。

- ・大会発表賞対象者：従来、生年に基づく条件を設定していましたが、今大会より、生年の条件を満たさなくても学生会員であれば対象者とします。

2. プログラム

プログラムの概略は以下の通りです。詳細は、大会 Web ページでご案内します。

- ・8月28日（火）～29日（水）[大会前]：

（サマースクール：大会 OS と連携）

- ・8月30日（木）[大会第1日]：

合同企画リレー招待講演、OS、ポスター発表

- ・8月31日（金）[大会第2日]：

合同企画招待講演、フェロー講演、大会企画シンポジウム、口頭発表、OS

- ・9月1日（土）[大会第3日]：

合同企画シンポジウム、合同企画パネルディスカッション、合同ポスター発表、口頭発表、合同懇親会（日本認知心理学会第16回大会開催日）

- ・9月2日（日）[大会翌日]：

（日本認知心理学会第16回大会開催日）

（Psychonomic Society セッション）

2.1. 特別合同企画1：リレー招待講演

大会第1日に、「認知モデリング研究の過去・現在・未来」と題して、認知科学界をリードしてきた認知心理学者の John R. Anderson 氏（CMU）と、日本を代表する認知科学者で、いずれも CMU に滞在経験のある三輪和久会長と安西祐一郎元会長によるリレー講演会を開催します。まず、Anderson 氏に、ACT-R を中心とする認知モデルの意義と応用、今後の展開について講演をしていただきます。続いて三輪氏に、会長講演に代えて、知識の外化活動としての認知モデリング、またデータ駆動モデルとの統合の試みについてご紹介いただきます。以上の講演を受けて、安西氏には、認知研究におけるモデルの意義や、モデルと理論の関係などについて講演していただきます。

2.2. 特別合同企画2：招待講演

大会第2日に、著名な認知心理学者、Lynne Reder氏(CMU)をお招きし、「項目強度・ワーキングメモリ・知識情報の相互作用：記憶の資源制約理論」と題して、ワーキングメモリ容量に関する最新の研究成果をご講演いただきます。日本認知心理学会との共同開催となる今大会にふさわしい講演として、認知心理学の真骨頂とも言える精緻な実験データの積み重ねから理論を構築するアプローチをご紹介します。

2.3. 特別合同企画3：シンポジウム

大会第3日に、「ロボットはプロの漫才師の仕事奪えるのか：実演で示す身体性認知研究の展望(仮)」と題したシンポジウムを開催します。人工知能研究の進展が社会的な議論を引き起こしていますが、身体を持った主体どうしのインタラクションにロボットはどこまで接近可能でしょうか。一流のプロ漫才師(交渉中)をお招きして実際に会場で実演してもらうとともに、同一のネタを事前に実装した2体のロボットどうしの漫才実演と対比させることにより、言語的分析と身体メディア分析の両面から新たな身体性認知研究を展望したいと思います。パネリストは、岡本雅史氏(認知言語学)、阪田真己子氏(身体メディア論)、榎本美香氏(言語心理学)、灘本明代氏(知能情報学)の4名(予定)です。

2.4. 特別合同企画4：パネルディスカッション

大会第3日に、「認知研究のこれから：心理学への批判と期待(仮)」と題したパネルディスカッションを開催します。認知科学誕生から60余年が経過し、認知研究は、当初の野心的な試行錯誤の集まりから、成熟して安定感のある学問領域に移行しましたが、成熟とともに、研究アプローチ上のさまざまな論点や問題も明らかになってきています。そこで、この度の共同開催を機に、異なるアプローチで認知研究をリードしてきた研究者をお招きして、認知研究、特に心理学の問題と今後の研究の方向性について私たち一人一人が考えを深める機会したいと思います。パネリストは、戸田山和久氏(哲学)、入来篤史氏(脳科学)、松原仁氏(人工知能)、竹村和久氏(心理学)の4名(予定)です。

2.5. 大会企画シンポジウム

大会第2日に、「身体性・社会性認知神経科学の展望(仮)」というテーマで大会企画シンポジウムを開催します。ヒトの持つ身体性・社会性認知能力については、最

近の認知神経科学の発展とともにさまざまなことが明らかになってきました。本シンポジウムでは、自己認識、情動と社会性、コミュニケーション研究などの第一線で活躍する研究者に最新の研究成果と今後の展望について語っていただきます。パネリストは、杉浦元亮氏(東北大学)・梅田聡氏(慶應義塾大学)・川崎真弘氏(筑波大学)の3名(予定)、指定討論者は、鈴木宏昭氏(青山学院大学)、開一夫氏(東京大学)の2名(予定)です。

2.6. フェロー講演

大会第2日に、今年度フェローを受賞された市川伸一氏(東京大学)と鈴木宏昭氏(青山学院大学)に講演を行なっていただきます。お二方とも認知・教育の基礎研究から実践にまで深く関わってこられたことから、「認知の科学から教育の実践への展開」というセッション・テーマを設定しました。まずは鈴木氏に「大学教育をどう考える：プロジェクションから見る教育(仮)」というタイトルで、続いて市川氏に「構造抽出から見た認知と教育：知覚、推論、学習をめぐって(仮)」というタイトルで、順にご講演いただきます。さらに時間が許せば、対談を通してさらに議論を深めていただく予定です。

2.7. オーガナイズドセッション(OS)

OSとは、オーガナイザが企画するセッションです。本大会では、以下の12件が採択されました。

- ・サマースクール連携企画：良い理論を見極め、適切な仮説を生成すること
- ・Nudge: Design and choice architecture in J・D・M
- ・食文化の固有性・共通性から考える翻訳可能性：食感のオノマトペ・ワークショップを中心に
- ・記号接地問題
- ・意味理解とオブジェクト認知：ホモ・クオリタスとしての人間理解へ向けて
- ・認知コントロールの促進的側面と阻害的側面
- ・「生きる」と向きあう科学：方法論からの解放
- ・プロジェクション・サイエンスの深化と融合
- ・知覚と相互行為
- ・心を揺さぶる、社会を動かすエージェント科学の最先端
- ・協調学習の評価の刷新：指標を探す
- ・認知ミラーリングと社会的認知：気づかれにくい障害の理解と支援

2.8. 一般セッション

一般セッション口頭発表は、大会第2日・3日、ポスター発表は、大会第1日・3日に実施します。第3日のポスター発表は、日本認知心理学会との合同セッションとなります。研究交流の場として積極的に活用してください。

2.9. 米国 Psychonomic Society Collaborative Symposium (協力：日本認知心理学会)

大会第3日の翌日(第4日)の午後、Psychonomic Bulletin & Review や Memory & Cognition などの学術誌を刊行している米国最大の実験心理学系の学会 Psychonomic Society が、国際活動の一環として、認知心理学会の協力のもと、シンポジウムを開催します。どなたも無料で参加できます。

3. 大会発表要領

3.1. 発表資格

一般セッションおよびOSでの発表(一般セッションに準ずる形態の場合)のためには、論文執筆者のうち少なくとも一人が、日本認知科学学会の会員である(あるいは、発表申込締切日までに入会手続きをすませる)ことが必要です。

3.2. 発表カテゴリと申込方法

発表カテゴリは、口頭発表、ポスター発表、OSでの発表の3種類があります。発表言語は、いずれも原則として日本語または英語とします。

3.3. 論文集原稿

発表が採択された場合は、仕上がり10ページ以内の発表論文集用完成原稿と、パンフレット用の200字の要旨を書いていただきます。パンフレット用の要旨は、発表論文集用完成原稿の中の概要(日本語)と同一内容で構いません。原稿は、大会webページよりご投稿ください。フォーマットはサンプルに従ってください。WordとLaTeXのサンプルが用意されます。

分量の上限は10ページですが、必要以上に分量を増やすことを推奨するものではありません。図表等を有効に活用しながら明瞭・簡潔な原稿を執筆するよう心がけてください。

なお、発表論文集は、紙媒体ではなく電子ファイルの形で配布し、大会と同時に一般公開される予定ですのでご承知おきください。

4. 参加要領

4.1. 参加資格

認知科学またはその関連分野に関心のある人は、誰でも参加できます。本大会に参加申込すると、後続して(9月1日～2日)開催される日本認知心理学会第16回大会(JSCP 2018)への参加費の優遇措置がありますので、是非ご参加ください。

4.2. 参加申込方法と参加費

大会webページよりお申し込みください。日本認知科学学会大会のみに参加できる「シングル」チケット、または、日本認知心理学会大会にも参加できる「コンボ」チケットのいずれかをご購入ください。なお、相乗り日(9/1)は、シングル・チケットで両学会に参加できます。

コンボ・チケットを購入される場合、両学会とも会員の方や両学会とも非会員の方は、どちらの学会のページから参加申込されても構いません。ただし、いずれか一方の学会でのみ発表する場合は、発表予定の学会ページから申し込みしてください。

一方の学会のみ会員の方は、必ず会員の学会の大会ホームページから参加申込してください(非会員学会側から参加申込すると、非会員価格が適用されます)。

大会参加費(チケット代)は以下の通りです。

| 大会参加費 (円) | 〈会員〉 | | | |
|--------------|-------|--------|-------|-------|
| | 一般 | | 学生 | |
| チケット別 | シングル | コンボ | シングル | コンボ |
| 早期登録 | 6,000 | 9,000 | 3,000 | 3,000 |
| 通常登録 | 7,000 | 10,000 | 4,000 | 4,000 |

| 大会参加費 (円) | 〈非会員〉 | | | | |
|--------------|--------|--------|-------|-------|-----|
| | 一般 | | 院生 | | 学部生 |
| チケット別 | シングル | コンボ | シングル | コンボ | — |
| 早期登録 | 9,000 | 14,000 | 4,000 | 4,000 | 0 |
| 通常登録 | 10,000 | 15,000 | 5,000 | 5,000 | 0 |

注) シングル・チケットの購入後にコンボ・チケットに変更することもできますが、その場合は、差額分に加えて変更手数料1,000円を申し受けます。

5. 大会発表賞

すぐれた若手発表者に対して大会発表賞を授与します。以下のすべての条件を満たす者が大会発表賞の対象者になります。

条件1: 本学会会員(正会員・学生会員)である。

条件 2：生年が 1985 年以降であるか、または学生会員である。

条件 3：所定の大会発表手続きが済んでいる。

条件 4：第 1 著者である。

大会発表賞の選考対象になることを希望される方は、参加申し込み時に生年の登録をしてください。

6. 問い合わせ先

大会運営一般について：

jcss2018@jcss.gr.jp

大会発表、査読、プログラムについて：

jcss2018-pc@jcss.gr.jp

2018 年度日本認知科学会サマースクールのお知らせ

サマースクール 2018 参加者募集

下記の通り、サマースクール 2018 を開催します。

3日目の8月30日(木)は認知科学会大会のオーガナイズド・セッション(「良い理論を見極め、適切な仮説を生成すること」と連携して実施します。

最新の情報は学会ホームページをご覧ください。

【開催要領 (予定)】

テーマ：良い理論を見極め、適切な仮説を生成すること

日時：2018年8月28日(火)13:00～8月29日(水)

※8月30日(木)の午前中は認知科学会大会会場にて実施。

場所：大阪府茨木市岩倉町 2-150

立命館大学 大阪いばらきキャンパス

立命館大学 OIC セミナーハウス

定員：60名(若手研究者を優先します)

対象：広く認知科学に興味を持つ学生・研究者。日本認知科学会の会員には限りません。

参加費：未定

宿泊費：未定

*学生の参加者には日本認知科学会から10,000円の参加費の補助(上限30名)があります。

問合せ先：日本認知科学会事務局 jcss@jcss.gr.jp

主催：日本認知科学会
